

8月7日
東地申6号

2020年度ダイヤ改正検証についての申し入れ

【上野車掌区】を行う!

ダイヤ改正から5カ月が経過し、職場では安全・安定輸送を心掛け奮闘をしています。今ダイヤ改正においても乗務員勤務制度の見直しによる「多様な働き方の実現」「効率性の更なる追求」を基に行われています東京地本は、組合員が安全・健康・ゆとりを確保したうえで、働きがいを実感できるダイヤ改正としていくために、設備面を含めた作業環境の実現を求め各分会において検証運動を展開してきました。

「新型コロナウイルス」の感染拡大に伴い、多くの線区で利用者が減少している最中でのダイヤ改正となりましたが、私たちはエッセンシャルワーカーとして安全の確保を第一に公共交通機関としての社会的責務を果たしています。しかし、乗務員勤務制度の見直しにより、効率性が追求された乗務員の業務量は変わるものではなく、むしろ安全やサービス品質の低下に対する精神的負担も高まっている中で業務をしていると言っても過言ではありません。

ダイヤ改正の検証を通じて、次期ダイヤ改正では各系統や各線区で抱えている課題を解消することで、鉄道の安全と組合員の健康・働きがいを実現するために東京支社に対し以下の申し入れを行いました。

1. 新型車内補充券発行機で座席確保が可能になった理由を明らかにすること。また、指定席券売機の自由席表記を座席未指定券表記に改善すること。
2. 発行機からE657系座席管理装置アンテナにログインできない事象が多発しているのを改善すること。
3. 上野駅平日、宇都宮線562M(22時52分着・上野終着)列車と上野東京ライン1639E(22時55分発・上野始発平塚行、上野東京ライン最終)列車を所定接続とすること。
4. 育児介護勤務者の乗務技術維持のため、行路数を増やした上で、短時間行路の設定は各線区にワークライフバランスを踏まえた時間帯に設定すること。また、常磐線の短時間行路については、育児介護勤務者が働きやすい時間帯に設定すること。